

第381回テレビ神奈川放送番組審議会

1 日 時 2018年1月16日(火)午後2時～3時30分

2 場 所 MBC 2階 テレビ神奈川 第1会議室

3 委員総数 8名 出席者7名、欠席者1名 五大路子委員

出席委員; 山田一廣委員長、布施勉副委員長、伊藤有壱委員、白石俊雄委員、林義亮委員、
吉川知恵子委員、二宮泉委員
tvk;中村行宏社長、押川渉取締役、角田光広スポーツ部長、熊谷典和コンテンツ局長、近藤和之編成部長

4 議 題 (1)放送番組

資料:①1月のタイムテーブル

②1月～2月の特番一覧表

(2)視聴合評

年越しスポーツクライマックス

『激アツ!アスリート大集合!あけましておめでとうスペシャル!』

2017年12月31日(日)午後11時55分～午前1時50分

(3)その他 報告事項

・視聴者対応

報告期間:2017年11月18日(土)～2018年1月12日(金)

・第380回(11月)放送番組審議会の議事報告

(「猫ひたプラス」2018年1月12日放送VTR)

5 議事内容 2ページ以降に記載

6 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置及びその年月日
特になし

7 審議機関の答申または意見の概要を公表した内容・方法及び年月日

(1)2018年1月12日(金)「猫ひたプラス」(12:00～12:15)の

「放送番組審議会からのお知らせ」コーナーで審議内容を司会者が報告

(2)審議概要を当社インターネットホームページに掲載

近藤編成部長 それでは2018年初めての放送番組審議会、本年もよろしくお願ひいたします。では第381回目テレビ神奈川放送番組審議会を始めさせていただきます。山田委員長お願ひいたします。

山田委員長 1月も中旬ですけれども、改めまして、新年明けましておめでとうございます。明日1月17日は阪神淡路大震災から23年という歳月が流れまして、私は被災後10日ほど経ってから被災地に入りまして被害の多かった長田区、東灘区、まだ地面が熱くて、スニーカーの下から熱さが伝わってくるという状況でして、いたるところに白い菊の花が手向けられている。そこに犠牲になった人たちが眠っているのかなというような思いで眺めていまして。六甲山脈に沿った被災地の空が、今日の横浜の空のように明るかったことを今鮮やかに憶えています。それでは381回目の番組審議会を始めさせていただきます。中村社長の方からお願ひします。

中村社長 改めまして、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年のお正月は、少なくとも横浜は結構穏やかでいいお正月を迎えられたことかと思ひます。今年になってちょっと残念なのが成人の日の「はれのひ」事件です。一生に一度の成人式で振袖を着て、親御さんにしても、息子もいるでしょうが娘の晴れ姿を写真に収めておきたかかったなという方々は、大変悔しい思いをされたのかなと思ひております。八王子だけではなくこちらの横浜の方でも被害に遭われた方も多いと、我々も報道をさせていただいております。実は横浜市の方からも、何とかその方たちの救済ができないだろうかということで、うちの下を「貸してくれないか」という話が出ています。ある写真館と一緒になるといひますか、写真を撮ると。そんな大人数はできませんが、うちの1階をお貸して、やれないかなということで、今調整しています。少しでもそういうことで一生の思い出を残せる方を何人か救えればなど。まだ

社長が雲隠れのままでどうなるのかと、報道の面でも我々は追いかけていかななくてはならないと思います。本日もよろしくお願いします。

山田委員長

ありがとうございました。それでは、本日の議題に沿って進めていきたいと思っています。まず最初に放送番組について。これはお手元の1月のタイムテーブル、あるいは1月・2月の特番一覧表を参照していただきながら、事務局からお願いいたします。

近藤編成部長

それでは1月のタイムテーブルのご紹介です。高校サッカー、ラグビーが表紙になっています。表の方が高校サッカー、桐蔭学園高校ですが、残念ながら1月2日、2回戦からの出場でしたが、奈良の一条高校に PK 負けということで終わってしまいました。裏の方の桐蔭学園高校、今年はサッカーもラグビーも桐蔭でしたが、ラグビーの方は準決勝で大阪桐蔭に負けてしまいました。東福岡も負けていたので、今年こそは単独優勝ができるかなと期待をしていましたが、残念ながら。しかもロスタイムのところで、あとわずか4メートルでトライできるというところで12対7で終わってしまったという非常に残念な。桐蔭学園は非常に健闘して、来年もまた楽しみかなと思います。中を開いて、1月の番組表は年末年始のものになってしまいますが、12月30日「ありがとうベ이스ターズ！」特番、12月31日が本日視聴合評をしていただきます「激アツ！アスリート大集合！」と、31日の「ビルボード TOP100」と、恒例のものをやっております。また元日、2日と「しゃかりき！」「キンシオ」のスペシャルを編成しました。下になりまして1月の新番組を紹介しています。「俺旅シーズン4」、ドラマとしては「マチ子の、恋はもうたくさんよ」「人狼ゲーム」、アニメとしましては「バジリスク」となっておりまして、情報特番として1月3日には県のご協力を得た「ミスキャン ME-BYO ラボ」、未病に関する番組を編成いたしました。タイムテーブルをとばしまして、こちらも年末年始編成ですが、「あし

たのジョー」「ウシジマくん」「トラック野郎」「フランダースの犬」「バニラスカイ」「地球防衛未亡人」「天才バカボン」「セックス・アンド・ザ・シティ」「デビル」と編成しました。大晦日に「君の名は」を編成しましたが、1月3日にテレビ朝日で「君の名は。」というアニメの方を編成したので、これが12月29日ぐらいに非常にネットで話題になりまして、ヤフートピックスにも載りました。こういうのもありなのかなと思った次第です。タイムテーブルに関しては以上です。続きましては1月2月の特別番組一覧です。1月18日は「横濱コラボレーション」、営業持ち込みです。こちらは横浜のベンチャー企業家の紹介番組です。1月21日は HTV 広島テレビさんの「広島お好み焼き図鑑～4つの東京物語」。東京で人気のお好み焼き屋さん4つを紹介し、こだわりの人気メニューに迫る番組です。1月21日「秦野市長選開票速報」は、新人の高橋さんと4選を目指す現職の古谷さんとの一騎打ちで、こちらの開票速報を放送します。1月23日火曜日、30日火曜日にも再放送がありますが、神田紅佳さんが案内する「Let's Go 平昌」ということで、韓国国際放送交流財団、向こうでいうアリランテレビ放送局様が制作した番組の持ち込みになります。2月からピョンチャンオリンピックが始まりますので、講談師である神田紅佳さんをご案内します。1月28日日曜日「横浜消防出初式」。こちらは1月7日、毎年恒例ですが、横浜赤レンガ倉庫で行われました出初式の模様をダイジェストでお送りします。1月28日は「神奈川県ミニバスケットボール大会決勝大会」で、1月27日に平塚総合体育館で行われます男女の決勝をお送りします。1月28日「横澤夏子のしあわせハーモニー」は NKT さん、日本海テレビさんです。タレントの横澤夏子さんがハワイで挙式する一組のカップルに密着したドキュメンタリーをお送りします。2月4日、「女性理容大革命」、営業持ち込みです。こちらは女性理容師ネットワークというところがスポンサーでありまして、女性

への理容、顔そりなどを紹介する番組です。2月6日、「信州アルプス追想曲～TSUKEMEN 邂逅への旅～」。毎年 TSUKEMEN さんが5月に神奈川の鎌倉芸術館大ホールで公演をするのですが、そのご案内で放送します。2月9日金曜日 TBS さんの「ピョンチャンオリンピック」、こちらをtvkでは9時55分から13時にオンエアします。2月14日水曜日がこの日に行われます「神奈川県公立高校入試問題解答速報」になります。2月17日土曜日、「横浜市会座談会」、これは3月の予算会に向けての横浜市会各会派代表から説明がある座談会をこちらで収録してオンエアします。2月25日「毎日映画コンクール」、こちらは2月15日ミューザ川崎シンフォニーホールで行われる毎日映画コンクール。今年のノミネートは映画「あゝ、荒野」など5作品。主演男優賞は浅野忠信さん他がノミネートされています。もう一つ2月25日「川崎市議会座談会」で、こちらは川崎市議会の予算に向けての座談会を収録してお送りします。以上になります。ちょっと資料を違うものを読んでいましたが、1月28日「ピョンチャン」と「ミニバスケットボール」の間に「横浜消防出初式」がございます。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。事務局から1月から2月にかけての番組について説明がありましたが、これについてどなたかご意見、ご質問等がございましたら。よろしいですか。それでは次の視聴合評に移りたいと思います。年末大晦日の長丁場の番組で、みなさんそれぞれご覧になられているいろいろな意見があると思います。この視聴合評の方に時間を割きたいと思います。

近藤編成部長

12月31日の11時55分からお送りしました「年越しスポーツクライマックス 激アツ！アスリート大集合！あけましておめでとうスペシャル！」です。本日はコンテンツ局長の熊谷とスポーツ部長の角田を同席させております。よろしくお願ひします。

視 聴 合 評

- 山田委員長 ありがとうございます。それでは委員の皆さんからご意見をいただく前に、番組の制作に携わりました角田スポーツ部長の方から。
- 熊谷コンテンツ局長 先に、僕の方から。
- 山田委員長 では熊谷さんの方からお願いします。
- 熊谷コンテンツ局長 ご視聴をいただきましてありがとうございます。本当はコンテンツ局制作一部の部長の重富がチーフをやっておりましたが、今日は別用がありまして私と角田が対応させていただきます。ご覧になっていただいたように、神奈川県は毎年非常に人気もあり、チーム数も非常に多く、多ジャンルに渡っています。今までなかなかこういう機会がなかったのですが、今年は特にフロンターレの J1 優勝もあったり、J2 のベルマーレの優勝もあったり、神奈川大学の駅伝優勝や DeNA ベイスターズの日本シリーズ進出ということもありまして、通常も賑わっているんですが、改めて神奈川のスポーツを地元テレビ局として盛り上げていこうと。一番の目的は、当然ファンの方々にご覧になっていただけたらと思うんですが、スポーツをまだご覧になっていない方に入口となるような番組を作ろうということで今回の企画を練らしていただいたというのが趣旨です。一見見ていただくと、これからアメフトやラグビーであったりいろいろなジャンルを取り上げさせていただいております。一見、散漫なところもあるかもしれませんが、一番大切なのは、初めての方も見ていただくと、いろんな選手にいろんなキャラクターがあるなというのをご覧になっていただけたかと思います。MC も敢えてライセンスというお笑い芸人で、彼らもインターハイで空手とサッカーということで、スポーツには非常に詳しくて、真摯に取り組んできた人間ではあるので、スポーツ選手に失礼にならないように面白さをうまく引き出すようにということで、中堅芸人のライセンスさんを起

用させていただきながら、視聴者の皆さんに若干スポーツに少しでも魅力を感じていただく。あと、好きな選手をつくっていただいて現場に応援に行っていただく。そのきっかけを設けさせていただければなという趣旨の番組でございます。

角田スポーツ部長 今、番組の意図については熊谷局長から話があった通りです。私の方では主にこちらに出演していたアスリートの出演要請を、各スポーツチームにお願いする担当でありました。いろいろ各選手もシーズン中であったりオフであったり、スケジュールリングが難しいところはあったのですが、それでも快く引き受けていただいて、みなさん出ていただきまして、非常に有り難かったと思います。以上です。

山田委員長 ありがとうございます。では委員の皆さんから意見を頂戴したいと思います。いろいろ質問等が出るとお思いますので、最後にお二方の方でまとめていただければと思います。まず、伊藤さんお願いします。

伊藤委員 かなりボリュームのある番組だと思いました。その時間をリアルに見ていたわけではないので、すみません、DVD で見させていただきました。本当は年越しの時間帯に見るのが一番ふさわしいな、というのはしみじみ見て感じました。やはりまったりした時間帯に、気の知れた家族や仲間と一緒に見るという、それがテレビの一つの役割だと思います。番組を視聴した印象としては、「神奈川のスポーツ」という一言が浮き上がってきました。これはtvkさんでやる以上、それ以上必要ないかもしれませんが、もっと「神奈川のスポーツ」ということを、もっととどく強く強調してもいいのかなと。ひょっとしたら、他府県であったら、県の名前を30回ぐらい連呼すると思います。なので、神奈川があまりに特殊なスポーツ大県だということはわかるのですが、神奈川ということで改めて、「ああ、こんなに」と、幅が知ることができた。熊谷さんがおっしゃったこ

とはきちんと通じました。そのうえで1つ2つなのですが、そのあたりを飲み込んでいくのに、少し情報が、もうちょっとほしかったなど。これは美術セット的な要素かもしれないですが、スポーツのジャンルとチームロゴ。チームロゴが番組のすぐ上の方にプレートがあって、本人の前に名前があるんですが、あの名前のプレートはあと1.5倍ぐらい大きい方がお年寄りとか、私も最近老眼が始まったので、非常に第一印象として見やすかったなど。また別の番組の時に出たんですが、「ユニフォームを着て出るのが難しい」と聞いたのを思い出したんですが、本当ならこういうときはユニフォームを着て出ただけたらなのというのが。かなりバリエーションを感じる、体感するためにはそれを見たかったと思います。それはセット全体がさわやかな白と水色、それからグリーンをあしらった非常にシンプルでセンスのいいデザインで、どちらかという年末年始のスペシャル感を出すという意味では、そういう部分をもうちょっと強調してほしかったという意見です。もう1つだけ。これは一般の観覧視聴ということで、たとえば場が盛り上がるとか、そういうような方法は考えられなかったのでしょうか。いろいろご事情があると思うんですが、そのあたりの。本当は場が盛り上がると、熱が、より見ている人たちにも楽しく伝わるという、そういうスタイルがあったのかないのか。以前tvkさんで、年越し番組でやはり局内にたくさんのオーディエンスを呼んで盛り上がったというのを見ていた関係で気になりました。あとで聞かせていただければと思います。

山田委員長

はい、ありがとうございました。続きまして林さん、お願いします。

林委員

ダイジェスト版だったので、非常にしまった印象を持ったんですが、お正月番組とはいえ、年越し番組とはいえ、少し脱線気味なところが、私の感覚として見受けられて、「あんなこといわなくてもいいのにな」という場面が何箇所もありました。少し、ちょっと仲間内のノリだけでやるのはいかがなものかしらと

思いました。熊谷さんがさっき「普段見ていない人の入口になれば」とおっしゃって、それは一定の目的は達したと思うんですが、そうであれば、せっかく彼らはプロなんだから、自分たちの置かれた教育環境だとか、チームのことだとか、もうちょっとしゃべってもよかったのかなと。「仲間内の誰それがどうだこうだ」という話だけでは、ちょっと物足りないなという気がしました。これについては、司会の彼らもインターハイに出たとか、空手とかサッカーをやっていたといっていましたので、質問の仕方、先ほど角田さんもおっしゃいましたが、スケジューリングを考えてライセンスの方という話もなさっていましたが、もう少し聞き方もあったのではないかと。ただ場を盛り上げるだけの質問ではいかがなものかしら、という気がしました。たしかアマチュアの方、光明相模原のソフトボールのコーチがお出になっていましたよね。あそこにお呼びになる基準というのが、ちょっとよくわからなくて。その他の方は全部プロでしたよね。彼女はアマチュアで。それはそれでアスリートとひとくくりにはできるんですが、これは多分公式戦の関係だと思うんだけど、ノジマステラの方がどなたもいらっしやらなかったですね。番組の中で言及はされていましたが、そのへんの、言及されたときにノジマステラがどうだこうだと、若干でも触れていただけでもよかったんじゃないかと。それからラグビーに関しては、tvkさんはずいぶん前からラグビーを一生懸命やっていたらっしゃって。そういう意味ではラグビーに対する人気の盛り上げにはかなり、一役も二役も買っていたらっしゃるけど。女子ラグビーについてもお二人を呼んで、私は非常に好感を持ちましたけど、途中で出てきたお三方は、もうちょっと何か話があるんじゃないかと。あまり固いことをいわなくてもいいじゃないかということもあるかもしれませんが、正月年越し番組だからといっても、しめるところはしめていかないとという気がしました。もうちょっとひたむきさを感じるような、そういう意味ではコ

一ナーに差しはさんで放送された高校生選手の方たちの方が、私は身を乗り出して見たような。あれはあくまで、番組ではサブなんでしょうけれども。あちらの方が身を乗り出して見てしまったという気がしました。スポーツを盛り上げることは地元のテレビ局の大きな役割ですので、我々もそれを考えて報道はしていますが、テレビのインパクトは強いので、これからもそういうところに力点を置いて放送していただければなという思いがしました。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。それでは二宮さんお願いします。

二宮委員

私もすみません、生では見ませんでした。といいますのは、私は前橋にニューイヤー駅伝を見に行くために前泊をしまして、生では見られませんでした。家に帰ってからビデオで見させていただいて。よくこれだけ有名な選手を、この夜中の時間帯にこれだけの時間座らせているなど。すごいものだなと思いつつ見させていただきました。ここだけは子どもから「聞いてこい」と言われたんですが、「VTR 中に新年を迎えてしまいました」というのは、あれは仕込みだったのか、それともトラブルだったのか。「そこだけは聞いてこい」と子どもにいわれたんですが。といいますのは、ビデオとして見させていただいたときに、高校生の娘と見たんですが、娘はいつになく喜んで見ていました。いつも一緒に見てもらうんですが。やはりスポーツって素直に見られるんだと思います。とても楽しくいい時間を過ごさせてもらったなど。私は駅伝が大好きなんですが、プロだとか社会人だとか、大学生、高校生、本当に数多くの選手が神奈川にいるんだと、限られた時間でしたが紹介させていただいて、喜んでいました。ただ駅伝のファンなんですが、残念ながら東海大がいなかった、日体大がいなかったと。それは「どうしていなかったのか、聞いてこい」といわれました。そのぐらい興味を持って見ているのかなと。加えてこれから東京オリンピックがあるし、パラリンピックがあるし、ラグビーの世界カップが

あるし、やはり神奈川にはそこに出てくる優秀な選手たちがいっぱいいるわけで、この人たちをしっかりと、私たちも応援していかなくちゃいけないし、そのためには選手を盛り上げていかないといけないので、ここはお互いに皆でやっていきたいと思いながら見ておりました。ありがとうございました。

山田委員長

ありがとうございました。続きまして白石さんお願いします。

白石委員

司会の方が井本さん、長澤さん、上手だなと思いました。フロアをキャッキヤと沸かしていましたから、フロアにいた方々は楽しかったのでしょう。井本さん、藤原さんという方はどこからスカウトしたかわかりませんが、上手でした。それから集まったアスリートの方の情報もよくつかんでいて、事前にキャッチされたようなことがあって、いいんじゃないかと思います。除夜の鐘から約2時間。皆お酒を飲んだり、眠い時間帯なのでこの程度でいいんじゃないでしょうか、楽しくて。やはり極めた人、あるいはグループやサークル、チームはいったいどういう考えをしているのかとか、何を望んでいるのか。最後にボードに展望とか出ていましたが、極めるというのは、頂点に立つ人たちですから、我々とは違った努力や目標を持って頑張ってきたんでしょね、過去。一体それがどういうことをいうのかということを知りたいなということで、他愛のない会話ですが、極めるということじゃなくて、普通の人間的な、「結婚したい」とか「お金を稼ぎたい」とか、そういうことをいっていましたが。我々とアスリートの差はちょっとあったんだろうと感じたところです。9人だったですかね、それ以外にもスポーツはいっぱいあるので、ここは極めた人が登場する番組として、是非続けてもらいたいなと思いました。「この番組に出たいな」ということを作っていただいた方がよろしいのではないかと思ったところです。それからプロはプロの魅力がありますが、アマも、高校・大学も含めてアマのチャンピオンも取り上げていただければいいのではないかと感じました。

山田委員長

ありがとうございました。では吉川さんお願いします。

吉川委員

二宮さんのお嬢さんと同じ質問で、始まりの時間が23時55分ということは、通常やはりカウントダウンを意識している番組じゃないかなと思うんですが、敢えてしないという意図的な構成で行われたのかどうかということをお聞きしたいなと思いました。それからやはり今年は神奈川、野球もベイスターズ、川崎フロンターレの優勝と大活躍で、神奈川のスポーツに焦点を当てて年末特番を組んだのはとてもいい視点だったと、私も思います。ただ内容はよくあるバラエティ番組のお笑いタレントさんの代わりにアスリートがいて、ライセンスたちにいじられたということで、正直年末に料理とかしながら流しておくにはいいんでしょうけど。すみません、私もDVDで見ました。トークの中身自体には、正直いってあまり興味が持てませんでした。せっかく「スポーツをあまり見ていない人の入口に」ということであれば、今回のテレビ神奈川のスタッフの方が意識されたのは、「トップアスリートの素顔」みたいなところで、気さくな話題をとるところかもしれませんが、スポーツを見ていない人にスポーツの魅力をとということであれば、もうちょっと競技に近い話。今回、それからパネリストの人選についても、女子ラグビーが2人だったり、バスケが2人、サッカーが3人ぐらいいらしたと思うんですけど、固まった集団じゃなくて、もっといろんな多様な分野のアスリートをむしろ少人数ずつ入れて。面白い話だと思ったのは女子ラグビーの選手は体重を増やすためにお米を、女子なのにいっぱい食べていて、男子のサッカー選手はアスリートだから炭水化物は食べませんとか。そういう体の作り方の競技による違いとか、そういう話は聞いていても、スポーツの入口になって面白いんじゃないかなと。お笑いの常套手段として、1個出たポイントを繰り返し使わなきゃいけないんでしょうけど、あまりにも辻さんの収入増の話とか、それとか婚活の話とか、そういうところでずっと繰

り返されるとしらけちゃうかなと思いました。それから私も伊藤先生と同じで、ユニフォームを着ていた人もいたけど、そうじゃない私服の人。女子ラグビーの人はユニフォームですよ。ユニフォームじゃないんですか。

角田スポーツ部長

ユニフォームの上に着るものです。

吉川委員

せっかくなので、ユニフォームの方が象徴的でいいかなと思いました。また番組途中にインサートされていた、「しゃかりき！」のトップ選手に出てくる、県下の高校生たちの活躍は、私もすごい興味深く、これは本当に一生懸命見ました。もっとインターハイで活躍した人とか、すごい選手ばかりが数名紹介されていましたが、一握りじゃなくて、もう少し紹介して、去年の番組のように、県民を多く登場させて、そして皆さんに身近に感じてもらうという意図も含めてやってもよかったかもしれないなと思いました。というのも、後から入ってきた寒川神社の紹介の内容は、スポンサーだからしょうがないとは何となくわかったんですが、スポーツに関係ないのに寒川神社のねぶたとか、延々紹介されていて、これはちょっといらぬ感じかなと個人的には思いました。それでその分「しゃかりき！」の選手を紹介してくれてもよかったんじゃないかな。その中で重量挙げの岡君の紹介の時に、重量挙げを私も何となくはしていますが、スナッチとクリーン&ジャーク競技がどう違って、もう一人の利川さんでしたか、ライバルの選手が持ち上げるけど、多分止まれなくて失敗と判断されたと思うんですけど、絵だけだと勝ったのか負けたのかわからなくて。そんなところも、もうちょっとわかりやすかったらよかったと思いました。それからこれは林委員もおっしゃっていたんですが、私も全く同じことを感じたのは、途中からあゆみ先生が登場されて、あゆみ先生は魅力的な方ではあるんですが、あのパネリストの中に、プロのアスリート、トップアスリートというくくりで紹介している中に一緒に入って同じ扱いで色紙を持ち、一緒に参加するのはちょ

つと違うんじゃないかなと思いました。以上です。

山田委員長

ありがとうございました。続いては布施さんお願いします。

布施副委員長

はっきり言ってぼやっと見ていました。それなりに神奈川のスポーツっていうのはこういうものなんだなとわかって。私も神奈川県民なので、非常によかったんですが。ただ、それ以上の制作者の意図があまり強く出ていなかったなと。こういうのは私本来の感覚からいうと、もっといろんな意図が出て主張することがあっていいのではないか。もちろんそれなりの、高校生が出たり、選手が出たりということで批判はしないけど、でももう一つほしかったなと思いました。つまり、面白かったけど印象的には薄い番組だったというのが私の考えるところですよ。で、いくつかのポイントを挙げてみて、スポーツに関するニュース性が中心的課題だったのかということ、そうでもない感じがするんです。じゃあ、非常に神奈川県民としてスポーツを見て、ドラマチックなウキウキした感じがするという、ドラマ性が制作のどこかに表れているのかということ、それでもないし。じゃあ、いろんなファンをこれからどんどん勧誘していこうという、そういうことかなと思うと、別にtvkはそういう立場じゃないといわれればその通りなんです。そうでもないということから、全体的には私個人としては面白かったけど、番組としては薄い感じを持ちました。ああいう番組であっても、番組を作っていくという立場から見ると、どんな番組でも必ずそういうところは問われてくるので、制作者の方は意識してどういう番組を作っていくのか。意図的な番組というのはスポーツの場合は面白くないですけど、だけどそうかといって、あまり意図のない番組も見ていて非常に、テレビをかけて見ているというだけで、それ以上のインパクトが出てこない。どの程度にするのかということの本格的に討論してもらえるとうれいなという気持ちでいっぱいです。以上です。

山田委員長

はい、ありがとうございました。私も実は当日見ることができなくて、録画で後日拝見させていただきました。「2時間は長いな」と思って見始めましたが、見ると2時間はあっという間だったなという感じで見終えることができました。それだけ内容が大晦日にふさわしいということで。まずベイスターズの対広島戦の3連戦逆転勝利。あれは3戦ともテレビで見ていたんですけど、ところがそういうことは忘れちゃっているんですね、8月のことなのに。そういうのが改めまして見て、「これがやっぱり、クライマックスシリーズ進出の大きな要因になっているな」ということを見まして、改めてベイスターズファンとしてはすごく気持ちのいい場面でした。それに関連して、筒香選手の柴田選手に対するちょっと辛辣な面もありましたが、優しいニュアンスの言葉。これは見ている、聞いていて非常に気持ちのいい場面でしたね。あと見始めたときに、このお笑いタレントでこの番組は持つかないという不安感がありまして。やはりこういう番組でしたら、やはり運動部の記者やスポーツアナが登場した方がよかったのかなという思いを持ちつつ見ていたんですが、結果的にはいろいろ皆さんから批判も出ましたが、あの2人が2時間頑張って引っ張っていったなという気がします。と同時に、2人のお笑いタレント以外に、あの中にやはりスポーツアナか運動部の記者が入って、補助のコメントなんかを出したらもっと充実したものができたなという気がいたします。それとちょっと欲張りなことをいわせていただければ、橘高校の前川梨花さん。高校2年生であれだけの走りをするということで、どんな練習をしているのか。その辺のことをもう少し詳しく知りたかったなという思いがあります。それと、ビー・コルセアーズの2メートル何センチの選手、あの時に長澤アナと、「私はこれだけだ」といっていましたが、ちょっと出て行って背を比べてみるとか、そうした演出も、あの中にあればもっと面白いものができたんじゃないかなという気がします。他に例えばラグビ

一で神奈川県代表になった桐蔭学園なんかも、ラグビーのところに入れてもらったらもっと面白かったかなという気がいたします。それと私は剣道をやっていましたから剣道に大変興味があって、神奈川県警は今強いですよ。なかなか警察は取材が難しいかもしれませんが、神奈川県警。私は機動隊に、初げいこ、寒げいこを見学させてもらったことがあるんですが、ああいうところの練習風景も取り入れて、警察官の強さも出していただければ番組に幅ができたんじゃないかという気がいたします。神奈川県はやはり、野球でもサッカーでもラグビーでも、非常にハイレベルなところにいますので、それをチョイスして番組にするのは大変だと思いますが、よく2時間まとまったなという感じで見ました。それとあのときはまだ富士通がアメリカンフットボールのライスボウルに優勝ということはわからなかったんですが、富士通のアメリカンフットボールのこともご紹介していただければよかったですんじゃないかと、個人的には思います。これは吉川さんも話していましたが、スポンサーであるので寒川神社の紹介は避けられないかと思いますが、ちょっと寒川神社に振り分ける時間が長かったので、その分、今話をさせていただいたスポーツの紹介などを入れていただいた方がよかったですかなという気がいたします。いずれにしても、大晦日らしい楽しい番組として見させていただきました。スポーツは誰が見ても公平に扱える番組ですので、これからもスポーツ番組には力を入れていっていただきたいと願っています。以上です。他に、言い忘れたこと、言い足りなかったことがございましたら。

白石委員

今年の企画はあるんですか。

中村社長

まだ、全くございません。

白石委員

そうですか。

山田委員長

では委員の皆さんから追加の質問や意見がないようですので、今のことに

していろいろ反論したい部分もあると思いますが、お二人からお答えいただければと思います。

熊谷コンテンツ局長 まず、伊藤先生からご質問があった一般の観覧視聴ということですが、ベイスターズの特番を1階でやらせていただいたことがあるんですが、確かに非常に選手がいらっしゃったりすると盛り上がったり、一体感があるということで、非常にいい試みだなということで我々もしばらくやっていたんですが。今回実は、4人の方もいらっしゃると思うんですが、お正月という、みなさんプロ選手、地元に戻ってしまったり、やはりお休みをみなさん取りたいということで、実は事前収録を撮らせていただきました。生では当然ございません。12月中旬にスタジオで撮らせていただいて。キー局等では観客を入れたりとかあるんですが、敢えて1階も使わずに収録がわざとらしくならないように、一般観覧を控えたんです。プラス、先ほど二宮さんからもお話がありましたように、新年のカウントダウンということも、さすがに収録でカウントダウンというのも間抜けなので、あれに関してはわざと演出上の問題で、ベイスターズのVTR中にカウントダウンというところで、こちらの狙いとしてカウントダウンしていないと。これが生放送であれば緊張感も高まってということなんなんですが、どうしても収録ですとらけてしまうところもあったり、もしやり直しになると、尚更らけてしまうので。その部分は演出で、敢えてカウントダウンを避けさせていたというところなんです。それから実は、角田からもまた話があるかもしれませんが、「選手にユニフォームを着せた方がいいんじゃないか」ということについては、今回は敢えて演出上の問題も当然あるんですが、スポンサー契約の問題も当然ありまして。選手は試合に出る前に一回契約が切れるというところで、なかなかウエアが着られない方もいらっしゃるというのと、それであればバラバラにするのであれば、個性が一番出る私服というところで、私服をみ

んな来ていただいた方がいいだろうという試みで、敢えてバラバラにしないで。ラグビー女子の二人はジャージを着て来ましたが、「なるべく私服を着て来てください」と指定をさせていただきました。逆に変な話ですが、僕らの印象からすると、ユニフォームを着た方がいわゆるリアリティがあるという場合もあるんですが、逆にスタジオでユニフォームを着ることによって、あまり格好良くないシチュエーションもイメージできたので、そうであれば普段の個性を、私服をなかなかご覧になる機会もないでしょうから、そこを全面に出させていただくという趣旨でございます。それから駅伝の部分ですが、まさにごもっともお話で。根本からすると、先ほど申し上げましたように、お正月にゆっくり見てほしいと。もし平日だったり土日だったり、しっかりとした番組を作るようであれば、もう少し番組も中身の濃いものを作らなきゃいけないんですが、やはりザッピングの多い時間帯の中で、緩やかに見ていただきたいというところで、「詰め込みすぎ感」は確信犯としてあります。いろんなスポーツがあると。先ほど「神奈川はスポーツ王国だよ、もっと強調した方がよかったんじゃないの」と、伊藤さんもおっしゃっていましたが、まさにそれを VTR で詰め込んだ形にしたのが現状です。その部分でどうしても全部入りきらなかった部分があったり、本当はノジマステラの選手もお呼びしたかったんですが、なかなか日にちが決まっていたもので、合同練習や試合に当たってしまったりで、お呼びできなかったという反省点があります。なので、まんべんなくというところがあったんですが、今回箱根も控えている中で、東海大は注目校ではありましたが、やはり青山学院と全日本で優勝された神奈川大学の2点に集中して。言い方はすごく失礼なんですけど、東海大と日体大の分を、若干でも神奈川大学と青山にということで費やさせていただいたというところなんです。みなさんおっしゃるように、散漫になりすぎるのが良いのか悪いのか。これは正月だから許

される部分はもしかしたらあるのかもしれませんが、もうちょっと本当は濃く、僕らも取材をしたいところです。スポーツは現にしていますが、なかなかそこを公表できなかった部分ではありますが、ちょっと表面をサラッとなぞった、正月らしい番組になったのは確かです。「しゃかりき！」の部分ですが、あれは通常のレギュラー番組でやっている「しゃかりき！」で取材をさせていただいて、かなりスタッフも、重富もそうですが、まめに何度も足を運ばせていただいて、かなりの取材数をやっています。実はタイムテーブルの中にも書いてありますように、1月に「しゃかりき！」の新春スペシャルをやらせていただいております、ここに橘高校の陸上部や法政の重量挙げ部がもっと詳しく出ています。僕らの反省点としては、そこで番宣のテロップを入れておいたらよかったんじゃないかということはあると思いますが、そこは制作者側の意図で、あまりいやらしくというのは避けてしまったと思います。実は1日の部分の宣伝も若干できればよかったと反省をしています。我々も2020年に向けて「しゃかりき！」では、数々の注目選手を取材しております。逆に「しゃかりき！」に関しては、桐蔭や東海大相模など、有名校で強い学校はあまり取材せず、皆さんの日常に近い形で高校生を扱わせていただいているので、その部分の素材が実はオンエアで使われていない部分がたくさんあったということもありまして。「しゃかりき！」の宣伝も兼ねながら、新春特番、それから未来のアスリートというところで、簡単な形になりましたが、ご紹介させていただいたところです。なので、おっしゃいますように、重量挙げのルールがちょっとサラッとなぞっただけということもありますし、そこは反省点ではありますが、「1月1日をしっかり見てね」というアピールができればよかったなと思いますが、そこは怠ったところです。

伊藤委員

さっき質問で、光明相模原のコーチを呼んだ事情は。

熊谷コンテンツ局長 その部分も「しゃかりき！」で追ってまして。これは違和感が非常にあるとおっしゃっていますが、プロの選手の中に高校の先生というのは確かに違和感があったんですが。今回担当者が「しゃかりき！」の番組も何とかPRしたいということもありまして、そこを混ぜてしまったというのも変ですが、頑張っている高校の先生方と生徒さんを、普通のアスリートと混ぜてしまったといういい方は悪いんですが、そこで一緒にレベルを合わせたかったという意図だったと思います。スタジオに呼ばずに VTR だけで処理するというのもあったんですが、高橋先生のキャラクターもキャラクターだったので。あとはバランスを取ってということで、ノジマステラの選手がいらっしゃれば、光明相模原の先生がいらっしゃらなかつたりということがあったと思いますが、最終的にはバランスを考えながら、「しゃかりき！」の宣伝もしながらということで、こじつけになります。ああいう形の先生のご出演というふうになりました。

山田委員長 何か結婚願望が強いとのことで、視聴者から立候補する人は。

角田スポーツ部長 聞いてはいません。

山田委員長 それと一つお伺いしたいんですが、高校生アスリートが何人も出ましたね。橘高校や武相のボクシングや重量挙げ。たとえ収録が昼間であってもオンエアされるのが夜中だということだと、高校生は出られないんですか。

熊谷コンテンツ局長 スタジオ部分は出られないです。VTR は当然問題ないんですけど。スタジオになると。

山田委員長 他にございませんか。ないようでしたら。

近藤編成部長 ノジマステラは1回、オファーしたんですよ。

角田スポーツ部長 ノジマステラについては、年末の全国大会でまだ勝ち残ってまして、準決勝、決勝と、初めて勝ち上がるためにどうしても練習が外せないというスケジュールの都合で、ご出演は難しいと。

熊谷コンテンツ局長 オファーは一応しているんです。

中村社長 それと収録が12月の18日で、まだ皇后杯があったもので。だからマリノスの彼なんかもよく出てくれたよね、天皇杯が。

林委員 そうじゃないかなとは思いましたが。

近藤編成部長 当初神奈川大学の監督もオファーをかけてはいたんですが、やはり箱根駅伝があるということで。当初としてはプロアマを混ぜてスタジオにとというのは思っていました、結果的にはプロだけになってしまったと。以上です。

山田委員長 それでは、3番目その他報告事項に移りたいと思います。

近藤編成部長 お手元の、まずは「視聴者対応について」でございます。内容は「かながわ旬菜ナビ」「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」「ハマナビ」「カナフルTV」。一番最後ですが、先ほどお話しいたしました「君の名は」に関してもメールをいただきました。お時間のある時にご覧ください。それと、東京メトロポリタンテレビジョン『ニュース女子』の放送倫理・番組向上機構(BPO)の資料をつけさせていただきました。以前林先生からもこちらの方が出ていました。BPOの放送倫理検証委員会の方からは、こちらは持ち込み番組ですが、「重大なる放送倫理違反があった」ということで、持ち込み番組に対する考査をしっかりとやっていかなければならないという検証結果が出ました。「ニュース女子」ですが、もう一つ放送人権委員会でもまだ審議が残っております。こちらの方は3月ぐらいに委員会が結論を出すという話になっております。ひとまず「ニュース女子」の放送倫理検証委員会の方では「重大な放送倫理違反」。昨年の1月2日にオンエアした沖縄問題に関する部分については、そういう結果がBPOから出ているということなので、こちらの資料をお付けしましたので、お時間のある時にBPOさんからの報告をご覧ください。

山田委員長 事務局から視聴者対応についてと、以前、ここでテーマとして出ました東京メ

ロポリタンテレビジョンの「ニュース女子」についての資料もありますし、これについて説明がありました。これについて林さん、いかがでしょうか。

林委員 今、近藤さんがおっしゃったんですが、持ち込みの番組とはいえ、それを放送するテレビ局としてはきちっとした精査をして、それは当然お考えのことでしょうから、ここでいうことはしませんけれども、そういう姿勢は維持していただきたいと思います。

山田委員長 今の件に関して、他にご意見等がありますか。せっかく配られた資料ですので、「ニュース女子」について、沖縄の基地問題、今もいろいろと議論をされていますが、是非お宅へ持って帰ってゆっくりと目を通していただければと思います。またこれについて何かありましたら、次の番組審議委員会の時に質問をしていただいても結構かなと思います。それでは前回の視聴合評の方に移りたいと思います。

近藤編成部長 それでは、前回第380回放送番組審議会の議事報告になります。

議 事 報 告

山田委員長 本日の議題はこれですべて終了いたしました。事務局から何か通達事項はございますか。

近藤編成部長 次回の放送番組審議会のご案内です。次回の視聴合評番組ですが、12月30日にベイスターズの特番をオンエアしました。こちらは終わってしまいましたので、皆様に DVD をご送付いたしますので、そちらを合評していただくということで、よろしく願います。次回は2月20日午後2時から、この場所ですらさせていただきます。どうぞよろしく願います。

山田委員長 何か皆さまの方で、お伝えしたいことはございませんか。

伊藤委員 視聴者からのアンケートにも少し触れられているんですが、1つだけお話ししたいことが。「君の名は」のことで。あれはやはりネットでとても話題に。アニメ

ーションのジャンルの人間なので。アニメーションと日本の映画の興行でその年の一番になったというアニメーションの「君の名は。」はもちろん見ていますし。でもそれに引っ張られるというか、便乗するのも面白いねというような感覚で見ていたんですが、正直なところ、あの企画はどのような経緯というか、意図で選ばれたのでしょうか。

近藤編成部長 年末の番組で編成するというので、特に大晦日という非常に後ろには強豪の日テレさんだったり NHK さんの紅白があったりというところでの編成を考えた上で、やはり「君の名は。」というものに便乗しました。新海監督、1月3日にテレビ朝日さんでやられるというものを意識して、こちらも「君の名は」というので、話題を取るということを意図して編成したというのが本音でございます。

伊藤委員 正直、とてもジョークというのは、本当に一番いい形で面白かったなという狙いでした、私の周りでもそれに関してクレームをいっている人は誰もいませんでした。ユーモアを感じました。

近藤編成部長 年明けに電話も60件以上いただきまして。実は「君の名は」は3部作なんですよね。ですから2部作・3部作がどうなるのかということで、ご高齢の方から非常にお電話いただきました。今2部作・3部作の方も、ありかは突き止めましたので、ちょっとどこかの機会に3部作をもう1回改めて。やはり日本の名作ですので、編成してみるのもいいのかなと検討しております。

山田委員長 松竹ですか。

近藤編成部長 松竹ではないんですね。

山田委員長 他にいかがですか。それでは他にないようでしたら、本日はこれにて閉会とさせていただきます。ありがとうございました。